

# 活動レポート

## オホーツク技術士会

### 平成 21 年度定期総会及び技術講演会等の開催

本号では、主に定期総会日に開催した技術講演会等を中心に報告いたします。

幹事：益村 公人 益村測量設計(株)  
 幹事(事務局)：岡田 包儀 北見工業大学  
 会計監査：坂上 琢也 (株)ドボク管理

#### 1. オホーツク技術士会役員会

日時：2009年(平成21年)3月24日(火)  
 午後6時30分～午後8時10分  
 場所：北見工業大学(北見市)、出席者：計8名



定期総会へ出席された各会員

#### 2. 修習技術者研修会

日時：2009年(平成21年)4月6日(月)  
 午後6時00分～午後8時00分  
 講師：橘 邦彦 技術士  
 演題：技術士制度の解説  
 場所：北見工業大学(北見市)、参加者数：15名



定期総会開催情況

#### 3. 第8回オホーツク技術士会定期総会

日時：2009年(平成21年)4月17日(金)  
 午後4時00分～午後4時30分  
 場所：北見 東急イン(北見市)、出席者：計22名  
 定期総会では、2008年度事業報告、2009年度事業計画案等が了承された。新役員体制は、次の通りである。  
 2009年度役員体制

代表幹事：大島 俊之 北見工業大学  
 副代表幹事：島田 昭三 サン技術コンサルタント(株)  
 副代表幹事：中崎 孝俊 中崎技術士事務所  
 副代表幹事：鎌田 貢次 網走開発建設部(～'09.8)  
 幹事：市橋 加代 北見市役所  
 幹事：猪口 公志 北見市役所  
 幹事：平成晴 太平洋総合コンサルタント(株)  
 幹事：橘 邦彦 (株)パル設計事務所  
 幹事：土田 好起 斜里建設工業(株)  
 幹事：本間美樹治 (株)中神土木設計事務所  
 幹事：牧野 勇治 (株)中神土木設計事務所

#### 4. 技術研修会

日時：2009年(平成21年)4月17日(金)  
 午後4時30分～午後6時30分  
 場所：北見 東急イン(北見市)、参加者：計38名  
 講師：大島俊之氏 北見工業大学教授  
 演題：古代土木遺産から学ぶ

— 維持管理とアセットマネジメント —

##### 道内橋梁の維持管理(前半部)

大島教授は、公共構造物等の最適な資産運用を検討するアセットマネジメントの研究を柱とし、橋梁の大地震時の耐震性、橋梁の診断および維持管理、橋梁の合理化・長寿命化等を中心に幅広い研究を行っておられる。講演では始めに道内長大橋梁の現況を概説され、最適な維持管理を基本方針とするBMS(Bridge Management System)について解説された。BMSの実施手順としては、定量的診断システムを柱として、①データの管理(橋梁諸元、点

検データ)、②健全度評価、③劣化予測、④事業シミュレーション(補修優先順序、予算配分、最適補修時期)の流れで、今日、橋梁群の最適な維持管理手法の要となっている。

道内における改修例として歴史的名橋の一つである釧路の幣舞橋(昭和53年改修)を取りあげ、津波に対しても橋桁が流失しない改修対策事例を紹介した。



講演される大島教授

#### 海外の土木遺産に学ぶ(後半部)

エジプト文明で特に絶大な権力を誇っていたラムセス2世(紀元前1314頃-紀元前1224年)はアブ・シンベル神殿を造営した。しかし、アスワン・ハイ・ダムの建設(1960年~)より、この神殿は、当初水没される危機に迫っていたが、国際社会からの強い要請により国際プロジェクトのもとで湖畔に移築された。講演ではこの神殿の移築方法が解説され、移築に際しては、各ブロックに切断し、クレーンにより吊り上げ移設・保存された状況を紹介した。また、これを契機として世界遺産の制度が制定されたとのことである。

次に世界遺産で観光資源ともなっている中国の万里の長城(歴代王朝が外敵侵入を防ぐため城壁を築き、総延長は6,000kmともいわれている。)について、その歴史的景観を忠実に保護する指針のもと、適切な維持管理が実施されている情况等を紹介頂き、海外の有形遺産の維持管理の概況を示された。

また、現在の中国の動向について世界を睨んだ中華思想戦略のもと、現在の上海周辺の大型コンテナヤードによる国際的物流拠点整備戦略、農業経営の法人化による大規模経営戦略の現況等を示され、今後の日本におけるインフラ整備のあり方に示唆を与えて頂いた。



技術研修会の様子

#### 5. 新合格者、新規会員を含む祝賀懇親会

日時: 2009年(平成21年)4月17日(金)

午後6時30分~午後8時00分

場所: 北見 東急イン(北見市)、出席者: 計29名



祝賀懇親会の様子

#### 6. 現場見学会

日時: 2009年(平成21年)7月22日(水)

午後1時00分~午後5時00分(現地見学2:00~4:00)

見学場所: ①網走港帽子岩ケーソンドック、

②網走港物揚場改良工事現場、

③網走港南防波堤改良工事現場

説明・案内者: 網走開発建設部網走港湾事務所渡辺仁第1工務課長、賀川智章計画係長、牧田佳巳第2工務課長

参加者数: 25名(内会員: 4名)



ケーソンドック(左)、物揚場工事現場(右)

最後になりますが、会員皆様方の益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

(文責: オホーツク技術士会幹事 岡田 包儀)